

◆九月に引越してきて片付けその他するべきことが多すぎて、今号のアップが大幅に遅れてしまいました。お詫び申し上げます。

◆しばらく前から気になる語が増えた。「レンチン」は話し言葉でよく使われるようになっていく。レンジでチンを短くいうことができるからだろう。また、「ととのう」とは、サウナ用語の一つらしい。おもにネットで使われるので、調べてみたら、「ととのう（整う）」とは、サウナ・水風呂・休憩のセットを繰り返すことで得られる、心身ともにとても調子がいいと感じられる状態のこと、だという。さらに先日、「ハブる」という語を会話のなかで聞いた。「ハブる」は仲間外れにする、省く、無視する、拒否することを意味する若者言葉らしいが、若者でない人がふつうに使っているのに驚いたのだ。言葉は生きもの、時代とともに変化してきたわけだから、新しい使い方が現れるのも当然と言えば当然のこと。これらの新しい語が、いつまで生き延びられるか見てみよう。

（布宮慈子）

muninokai.com

113号より上記サイトのオンライン版発行のみとなっています。

季刊展景
115号

二〇二四年十一月二十日 発行

編集・発行人 布宮慈子

制作 スタジオ・マージン

無二の会「展景」発行所

山形県西村山郡河北町谷地庚79

info@muninokai.com

Copyright © 2024 MUNINOKAI. All rights reserved.